NPO法人
邦楽指導者ネットワーク21
URL http://www.npo-hougaku.or.jp/index.html
平成22年1月1日発行

たより第14号

新年のご挨拶

副代表理事　西角井　正　大

西角井正大
昭和38年文部省文化財保護委員会無形文化課文部技官、昭和41年国立劇場芸能部制作室演出室主査、平成7年日本芸術文化振興会国立劇場芸能部長、平成9年日本大学芸術学研究科非常勤講師、平成10年実践女子大学文学部教授、平成15年NPO法人邦楽指導者ネットワーク21副代表、平成16年国立劇場おきなわ運営財団理事。

新しき　年の初めの　初春の　今日降る雪の　いやしけ　吉事（よごと）

これは「万葉集」の最後を飾る大トリの和歌です。大半の意味はお分かりになると思いますが、「いやしけ　吉事」はちょいと難しいかもしれませんんね。「積み重なれよ　吉い事が」ということです。よいことがあとからあとから絶えることなく続いてという願いです。天平勝宝3年（751）の正月に因幡守だった大伴家持が郡司などの地方役人を呼んで新年会を開いたとき詠んだ和歌です。大伴家持は万葉集の歌の選者・編者と目されている役人歌人です。山陰ですからお正月（今日の太陽暦に直すと2月2日になります）に雪が「雪やコンコン」の歌のように降り積もっていたのでしょう。いうまでもなくお正月には古い年が越えられたことを安堵して迎えた年がますますよい年であるようにと誰もが願うものです。その第一声が「新年明けましておめでとうございます」のご挨拶です。

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21のメンバーの皆さん！明けましておめでとうございます

でも、ここ数年は、世間の経済状況は芳しくなく、新聞を開けば不況の文字が目に飛び込んで来ますし、TVのスイッチを入れれば不況の声が聞こえて来ますし、街を歩けばボーナスどうだったなどひそひそ声がしますし、どうもいけません。心が暗くなります。元気出したいですね。

この号に、じつに沢山の「伝統文化こども教室」の成果が報告されています。苦労の多いお仕事ですが、NPO法人の組織のメンバーらしくボランテア精神を発揮されて活き活きとした報告ばかりです。受講生もまた然りでお互いにやり甲斐を感じ、ようよう成果が実って来たなという感触です。

さてこれから本番という意気込みを固めているところに不況の煽りを喰らって、平成22年度は委託交付金の支給が受けられなく公算が大変に大きい状況です。どう子ども教室の意義と成果を途切らせずに続けていくか問題です。蔑（ないがし）ろにしないでと叫びたい思いです。平成22年のお正月もどたばたバライティ番組でTVが埋まるでしょう。むしろラジオから流れて来る三曲や箏の琴の音の方が、寝正月していても飲正月していても食正月していても、日本の実感がじわじわするでしょうに。番組スポンサーにもこっち向いてホイと言いたいくらいです。

箏曲の世界ではお弾き初めということがありましょうか。書道ではお書初めがあって、いまも小学校の高学年では学校に提出するところがあります。武道の世界では鏡開きということが行われていますね。ご存知のように一般に芸事に世界ではこうしたお正月行事が行っていて、心新たに取り組もうと誓う習慣があります。そういうこととは別にお裁縫の世界では針供養なんていうことがありますよね。お豆腐に針を刺して。やさしく美しい心栄えを覚えます。大工さんも鋸（のこぎり）や鉋（かんな）の供養をしたものですが、いまはどうでしょうね。

私は箏曲の世界でも弦供養とか爪供養とかやったら面白いと思っています。なければやってみたら如何でしょうか。

伝統文化こども教室への思い

北九州支部
東島啓子

平成16年2月頃の話です。楽器店さんから「文化庁の委嘱で『伝統文化こども教室』というのが今年度から実施されていますよ。やってみませんか」とのお話をいただきました。早速翌年度の募集案内をインターネットで見ると締切は間近でした。何枚もある要項を印刷して熟読いたしました。子供達は無料で指導を受けることができ、謝金や必要経費は国が負担してくれる、というものでした。想像しただけで心躍る気がいたしました。

以前から一部の学校の依頼により、お箏を中心にした授業など度々行っていましたが、2001年に北九州市音楽科主任研修会講師に認定されました。2003年に正式に学校教育に邦楽が取り入れられるのに合わせてのことです。タイミング良く、NPO法人邦楽指導者ネットワーク21も2003年に発足しました。伝統文化子供教室を実施するには、団体に正式な規約が必要で、指導者や会計の他、何名かの協力者も必要でした。私は早速、社中の協力者を確保してネットワーク21本部へ連絡し、北九州支部知啓会として申請することを許可していただきました。

次に、実際に採択される為に伝統文化活性化国民協会の指導を電話で仰ぎ、暗中模索で書類を作成しました。2004年5月、採択の通知が来た時は、大変な喜びでした。同時に、国費を使って実施するので、重責を感じ、身のひきしまる思いも致しました。こうして私がずっと抱き続けた、「子供達への邦楽の普及」が実現していったのです。

その後毎年申請して採択を受け、3年目の平成18年11月、東京での伝統文化こども教室研究協議会に招集され参加いたしました。各方面での伝統文化継承者や小島美子先生（国立歴史民族博物館名誉教授・伝統文化活性化国民協会理事）のお話など間近に聴くことができました。また、事務的な要望や改善点などを発表し、盛りだくさんの話し合いでしたが、翌年の募集案内にはほとんど全てが聞き入れられていました。私達団体にとっても、年々実行しやすくなっていき、有難く感じました。

私はNPO法人邦楽指導者ネットワーク21の一員として、この制度は会員の皆様に知らせて全国にもっと広めるべきだと思い、初年度終了後の理事会、総会の席で、方法や一年間の実績を報告致しました。元々私達の団体は、学校や子供達に邦楽を広めたいと願っていたので、是非この制度の恩恵にあずかってはいかがか、と提案いたしました。その結果、本部始め理事の方々には、ネットワーク21の主な活動として取り上げて頂き、現在では20余りの支部・地区の方々がこの事業に取り組んでいます。

私は最長5年の活動を終了しましたが、北九州には「八幡支部箏曲かなの会」が新たに立ち上がり活動しています。

政権交代により伝統文化こども教室も転機を迎えようとしております。

5年間で百数十名の子供達に指導してきました。小中学校で行ってきた授業も含めると何千人の子供達に邦楽の魅力を伝えてきたことでしょう。今まで蒔いてきた種が10年、20年先の未来を担う子供達の中で芽を出し、花が咲くよう切に願っています。

プロフィール
平成5年、知啓会結成、NHK邦楽オーディション合格。平成15年、NPO法人邦楽指導者ネットワーク21　監事就任。平成16年、伝統文化お箏こども教室5年間実施。平成17年、北九州市立小中学校非常勤講師。平成20年、文化庁芸術家派遣事業実施。平成21年、第8回DAEPアーティスト選抜コンサート奨励賞受賞。第15回熊本全国邦楽コンクール長谷検校記念　奨励賞受賞

名古屋市名東支部　「伝統文化お箏こども教室」

広島支部　「伝統文化神辺こども箏・三絃教室」

沖縄支部　「伝統文化浦添箏こども教室」

伝統文化こども教室の各地の報告

狛江箏こども教室

まいしゅうお琴の練習がたのしみでした。「きらきら星」や「ぶんぶんぶん」がひけるようになった時がとってもうれしかったです。むずかしいときは先生にきいて教えてもらいました。ほんとうに楽しかったです。　中西まゆ

小学校3年生が15名。4年生が5名。計20名で毎週楽しく練習をしました。今年で開催5回目となり市内の事業に参加する機会が増えました。市内の子供達に邦楽がもっと広がっていくようこれからも努力していきたいと思います。

狛江支部　渡辺正子

箏友会下関こども教室

私は、ピアノを習っていますが、楽譜もピアノとは全然ちがって数字や漢字でびっくりしました。また、トレモロという連打で爪をはじいて弾くところもあり、それが一番難しかったです。残りあと少しがんばって最後の発表会に望みたいと思います。　6年生　米田真菜

小さい時に美しい音楽を聴き、また体験させることは、今すぐ結果が出なくても将来、美しい音楽に心をよせてくれるものと信じております。子ども達に豊かなこころ・優しい感情表現ができる事・を育てて行きたいと思います。

山口支部　松崎　妙子

かこがわ箏こども教室

新型インフルエンザのことで音楽会が中止になりました。その時私は、「せっかく頑張って練習したのに」と残念に思いました。この頑張った「さくら」をまた学校のみんなに聞いてもらいたいです。これからも頑張ります。　4年生　久森美羽

今年はインフルエンザの影響で実現出来ませんでした。是非発表の場を見つけてあげて、この経験が、いつの日か国際交流に役立つ日の来ることを、私は確信しています。来日の留学生が、自国の文化を披露してくれるように。

加古川支部　鈴木　晴椰

箏曲こども教室

グループに分かれて練習したり、皆で合奏するとき、最初は、間違えてしまうところがあります。でも、他の人と合わせて練習していくうちに、間違いに気がついて、上手になっていきます。発表会で、家族に聴いてもらうのを楽しみにして、これからも練習を頑張りたいです。　4年生　片野瞳子

加茂文化会館主催事業「市民芸能祭」などで演奏で充実した1年になりました。小学校低学年の参加が多く子供達のまなざしが印象的でした。

加茂支部　高橋　理香

神辺箏・三絃こども教室

琴を始めて三年、先生方の愛情をたくさん受けながら今日に至り、礼儀作法も身についてきて、日常の様々な場面できちんとできるようになり、とても感謝感激しています。これからも、琴のお稽古をとうして娘の成長を楽しみにしています。　三年生父兄

初年度から長く続けていってほしいと思います。

広島支部
沖田　寛江

箏糸会北松尾こども教室

わたしは、6年になるまでお箏を続けたいです。おねえちゃんがお箏をいつも、ひいてかえってきてから、うらやましいなぁと思っていました。だから今、ひけるのがうれしいです。わたしはお箏が大好きです。だから、6年までお箏を続けたいです。　4年生　岸川由依

私たちの活動が、地元の人達との交流を深め、伝統音楽への関心を高める一助になって多くのこどもたちが邦楽の分野に進んでくれることを願っています。

和泉支部　今村　慶子

富士宮支部箏こども教室

難しかった曲は、「かさこじぞう」です。最初に練習していた時は、ゆっくりやっていたので、本当の曲の速さが予想以上に早くてびっくりしました。でも、練習しているうちにうまくできるようになったのでうれしかったです。　5年生　佐野涼音

20年度のこども教室は、五線譜を使って実施してみました。こと譜を覚えるより、音階を唄って弾くことの方が早く弾けて理解しやすいようでした。箏曲の魅力を実感してもらいました。

富士宮支部　佐野　妙子

品川区箏こども教室

初めて爪をはめる時に、これでひくんだなと思いわくわくした。　肥田野　希実

校長先生を始め、先生方のとても親切な対応に、私達スタッフは感謝しつつ、教室の運営ができました。生徒も熱心で連帯感が生まれ「もっと続けて!」の声援を頂き、光栄です。活動は地域貢献に一歩でも近づけたい。

品川支部
坂本　恭子

千種支部箏こども教室

楽しかったことはいろいろな曲がひけてみんなと一緒に演奏できておことが上手になったことです。2学期になったら三本指も出てきて、きらきらぼし、七夕様、ちょうちょ、かえるの歌を弾きました。とても難しかったけど、楽しかったです。　3年生　相楽真子

こどもたちは、毎回新しいことを吸収しているようです。お爪のはめ方、構え方、楽譜の読み方も全く知らなかったこどもたちが修了演奏会では、1人で1曲弾けるようになるまで成長してくれるので、とても嬉しいです。

千種支部　山本明由子

彩音会お箏こども教室

お箏こども教室に入って、私の知らなかった日本の文化を知ることができました。他の学校の友達もできて、楽しいのでこれからも続けていきたいです。

お箏は日本の伝統の一つなのに、知っている人がほとんどいないので、もっと広まるといいなあと思います。　6年生　五十嵐愛

開催2年目の今年度は小学校1年～ 5年生までの20名の参加がありましたが、内半数が1 ～ 2年生で私達も奮闘した1年でした。けれども途中大会もなく20名全員で修了発表できたことが、何より嬉しいことでした。

鶴岡支部　菅原　綾子

調布市こども箏尺八教室

お箏のある日毎日が楽しみです。ほかの学校の子も来ていて一緒に友達になれて、そのこと会うのもたなしみです。お箏がなくなるとその子にもあえなくなるので、やめないで下さい。　5年　横井里菜

今年は段階に応じて練習グループをABCの3つに分け、Aがことの練習、Bがサポート、Cが尺八とローテーションで行いました。今年は市民文化祭に出た他。PTA講演会でも演奏しました。後は終了発表会です。

調布支部　門傳　良男

八王子箏曲こども教室

はじめはかんたんだったけど、曲が長くなってむずかしかった。八から五に音がとぶところがむずかしかった。でも失敗しないでひけたときがうれしかった。またおこと教室を開いてほしい。　大居　彩

子供たちのチームワークの良さ、楽しそうに仲間の分まで、楽譜や楽器等を用意する姿をみて、とても微笑ましく思っています。思いやりの精神が自然と培われたようで、お琴を通し、心の教育の大切さも教えていただいたように思います。ありがとうございました。

八王子支部　小林千恵子

平野箏こども教室

伝統文化教室ではお箏が弾けるようになって良かったです。家のお箏も使ってもっといろいろな曲を弾けたらいいなあと思います。先生みたいなすごく速い曲まで弾けるのはすごいなあと思います。も、あんなふうに弾けるといいなあと感じました。5年　波多野琴子

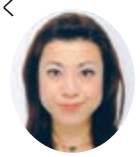
一般の方々が私達の活動に理解を示して温かく協力してくださる時、とても有難く感じます。こども教室に参加してそのままお箏を継続している子もいるので、将来のために伝統文化の継承者を増やす、という使命をもって今後も続けていきたいです。

八幡支部　緒方　加奈

仙川箏こども教室

最後の日には、「頑張りました賞」がもらえたのが嬉しかったです。これからも、夏休みにお琴教室があったらいいです。中学校でも、学校にお琴があって弾けると嬉しいです。　4年生　稲田歩未

低学年の生徒は手もかなり小さく、覚える速度には個人差がありますが、お箏に慣れてくると学年や年令は関係なく一生懸命練習した分だけ伸びていくと、改めて気づかされ日々勉強になりました。



仙川支部　望月亜紗子

お箏こども教室

発表会はあってもやるきょくが難しいといやなので参加はいやですが、普通のお箏はいいです。なぜいいかというと難しくないからです。これからも続けていきたいです。よろしくおねがいします。　岡野実央

皆さんお家に楽器がなく練習日しか弾けないわけですが、日に日に弾くタッチがよくなり音の強弱など子ども達の吸収力は素晴らしい!!　その後続けられる方がなく、伝承継続が今後の課題となっております。

名東支部　片岡　英子

新発田江箏こども教室

発表会は、本番でもまちがえていたけど、2回目は一回もまちがえなくなりました。そして、今は、しらない曲にもチャレンジしています。この前の発表会は、ポニョをやりました。これからもがんばります。　小学校3年　松田茄子

小学校2年生から中学生の子供達ほとんどが、こども教室が終わっても、ぜひお箏を続けたい、中学生、高校生になっても「お箏を弾きたい」という気持ちを大切にして指導していきたいと願っております。

新発田支部　坂田　翔祐

浦添箏こども教室

わたしは、こと教室ではじめてお箏の練習をしました。最初は、難しく、指が痛かったけど、いっぱい練習して、少し弾けるようになりました。「上手にできたね。」と先生にほめられたときは、とても嬉しかったです。　2年生　儀保優菜

沖縄では三味線・琉球箏曲が普及している為、受講者は少ないと思っていましたが、15名の子供達が集まり、現在では12月19日の終了式・舞台発表に向けて取り組んでいます。今後も続けたいとの要望がありますので、指導を続けて参ります。NPOをはじめ沖縄の皆様の御支援に感謝です。

浦添支部　下地　華峰

古城箏こども教室

おもしろかったことは、巾から一の糸まで速くひいたり、一から巾の糸までポロロローンとひいた時は、すべり台のようでした。もっとたくさんの曲がひけるようになりたいです。広い会場で、たく山の人の前で演奏をしました。　5年生　三村芽生

学童保育のこども達に希望を募り16名が集まりこども教室を開きました。「阿蘇市こども芸術祭」で大勢の方々に箏合奏を聴いてもらい、大きな体験をすることができました。子供達のためにも伝統文化こども教室が継続できますように祈りたいものです。

阿蘇支部　遠山　豊子

民謡三味線・唄の教室

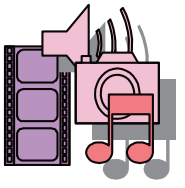
4から2をおさえることなどおさえているところからとおい場所をおさえるってゆうのがむずかしかったけどできるようになるとうれしいし、ほめられるともっとがんばるぞ!って思いました。もっといろんな曲を三味線で弾けるようになりたいです。　小林夕夏

三味線は構え方が大事なので基本をしっかり教えています。回を重ねる毎に少しずつ慣れてきて全員弾けるようになりました。現在は発表会に向けて「武田節」「斉太郎節」の唄も一生懸命練習しています。

相原支部　小笠原夏美

編集後記

「伝統文化こども教室」を実施している支部の皆様にご協力いただき、子供達の声と指導者の声をお聞きいただきました。なるべく多くの地域からの声を掲載させていただくため、文章の一部を割愛致しました。　広報部



音楽の街－狛江

♪市内在住の音楽家が大活躍♪

音楽の街－狛江　推進実行委員会委員長　榊　原　　徹

狛江は23区に隣接し、多摩川の流れに沿った街。いわば、都市と自然が同居した人口8万足らずの小さな市です。しかし周囲にかつての大手映画撮影所も多く、多くの映画、舞台、音楽関係者が仕事をし、高度成長期の住宅都市化では、都会の喧騒を逃れた芸能文化人の多くが移り住んだ街です。この狛江では、今「音楽の街－狛江」の活動が活発に行われています。この活動は、文化意識の高い市民のニーズに応え、狛江の特色を打ち出す政策の一部として2006年に始まりました。そして、2007年からは小さな予算を吟味し、駅前ライブ、市民広場の日曜市ライブ、と公演活動を展開したのです。幸い狛江には、在住音楽家が多く、クラシック中心の洋楽演奏家に加え、邦楽関係者が多いのも特徴で、多くの協力を得ながら、愛好家の出演に加え、プロにも出演していただく機会を増やしてまいりました。また、作曲家の故松村禎三先生、三木稔先生など、音楽創造者も多い事も活動を押し上げているエネルギーです。

音楽の街－狛江を推進する矢野ゆたか市長

年間を通しての様々な公演活動の集大成として、大きな公演、「夢コンサート」を毎年開催しています。狛江在住音楽家の演奏を中心に、優れた愛好家と団体も紹介し、またプロとアマチュア混合による演奏も披露する公演は、周辺地域と沿線にも多くのファンを獲得しています。洋楽と邦楽、またクラシックばかりでなく、ジャズの演奏に、邦楽がジョイントする演奏もあります。昨年は、都立狛江高校箏曲部OGによる華やかな演奏が会場を沸かせましたし、尺八トリオによる三木稔作曲〈ソネットⅠ〉も、素晴らしかったです。また、海外からのゲストとして中国琵琶の名手楊静（ヤンジン）に演奏して頂きました。

狛江市歌「水と緑の街」リハーサル風景　指揮　榊原　徹

公演活動は、今年も1月の市役所ロビーコンサートでの箏曲、尺八による演奏、「新春寿ぎ華舞台」と題した長唄演奏会と続き、3月14日には、「夢コンサート」を開催いたします。3部構成3時間の公演は、市民吹奏楽団による新作初演、ロシアからのゲストピアニストの演奏も注目ですが、やはり人気の高い邦楽演奏は欠かせません。昨年に引き続き、狛江高校OG箏曲合奏団、そして市内3小学校合同による箏曲合奏は、渡辺正子氏の指導による「伝統文化狛江箏こども教室」によって培われた集大成でもあります。また弦楽四重奏とピアノに、箏、尺八、中国の大三弦を加えた合奏で、三木作品の演奏もあります。現在公演の準備を進めている最中ですが、更に多くのお客様に足を運んで頂き、また、「音楽の街－狛江」の活動にも注目をして頂きたく思います。

榊 原　　徹

プロフィール

東京芸術大学音楽学部器楽科入学。在学中より演奏・指揮活動を始める。1989年～ 1991年西ベルリン在住。音楽活動を経て帰国。帰国後はオーケストラ、オペラ、バレエなどを中心に指揮者・音楽監督として活動する。1995年～ 2003年（財）日本オペレッタ協会音楽監督。日本、オーストリア、ハンガリーなどで数多くの公演指揮、助手を務める。この間（財）日本オペレッタ協会の国内外の公演に対し、「音楽の友社」賞、「トヨタ文化賞」などを団体受賞。また現代邦楽の公演も多数指揮する。三木稔作品指揮者として、1994年以降多くの作品に携わり、初演、海外公演、文化庁公演など数多い。現在、結アンサンブル、東京歌劇座、東京劇場管弦楽団各音楽監督の他、八ヶ岳「北杜国際音楽祭」でのエグゼクティブ・プロデューサーなども兼務。また、「音楽の街－狛江」推進事業実行委員会委員長、狛江市文化振興事業団理事なども努める。

ヴィバルディ四季より「春」
渡辺正子と狛江高校OG箏アンサンブル

「古希の春」

熊本県菊池支部
渡　雪美

2010年の幕開け。古希を迎え、生かされていることにまず感謝。これまでの70年間の人生・今の生き方など考えさせられる迎春である。6歳で戦犯絞首刑となった父を失い超貧乏の生活や、33歳で慢性腎炎になり1年休職入院などどん底の味も経験した。教職の身であった私には、険しい道のりも多々あったが、とにかくお箏の音に魅了され、趣味で始めたこの道が、退職後の私の生き甲斐・仕事として私を大きく支えてくれている。演奏活動をしているお蔭で思い出がいろいろと蘇ってくる。NHK番組「ふるさと自慢・うた自慢」テレビ・ラジオへの出演。菊池市立泗水中学校の選択音楽教科非常勤講師として、2年生・3年生の授業を担当し平成9年から現在まで勤めている。泗水とは、孔子様生誕の地、中国山東省泗水県から名前をもらったということで、泗水秋まつりが地元の孔子公園で開催され、孔子様の遺徳を偲ぶ儀式を毎年地元中学生44名が披露している。色鮮やかな衣装を身にまとった踊りや、中国古来の楽器を奏でる演奏をする、「祭孔大典」という儀式である。「孔子様」の教えのもと、生徒たちが素直に・礼儀正しく成長し、町に貢献している様子も含めのPR、出演。中学校のカリキュラムは、2本柱。秋まつり指導と並行しながら、日本の伝統楽器として「お箏」の指導もし、成果は、学習発表会で披露。3年生は、卒業前に近くの老人介護施設へも毎年慰問して、大変歓迎されている。

ミュージック・ナイチンゲール　アンサンブル渡里夢（ドリーム）の活動として合宿講習会・研修会への参加。学校公演や出前授業・施設への慰問演奏と積極的に取り組み、地域への貢献に努めている。舞台劇の効果音楽を担当したり、結婚式や祝賀会ほか地元のイベントにも依頼多数。ひとりでも多くの人に、和楽器「箏」の魅力を理解して欲しく、好きになって欲しいと願って歩いている。海外へお箏の魅力を伝える公演や、地元のおとなからこどもたちとの触れ合い。出会う人、ひとりひとりがハートのぬくもりを感じる人ばかりで、教えられること多く、光とエネルギーをもらっている。実に恵まれた環境で、中学校サイドの対応や先生方・市役所の方などの温かいご理解に感謝。サポートしてくれている門下生や家庭では元教育長の夫の理解もある。私の体は、慢性腎炎でボロボロでも、心は老いることなく、夢と希望を追い、6月27日には、コンサート開催の準備を進め、「私の人生　ただ今青春真っ只中」幸せに満ちている。これもひとえに、私の師　古川郁代先生のご指導・ご鞭撻そして暖かいご支援あっての賜物と、厚くお礼申し上げ、今年も微力ながらもお箏を生き甲斐として、歩んで生きたい。「生涯現役」が、私の夢でもある。

東洋大学でのワークショップを終えて

八王子支部　小林 千恵子

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21からの依頼で平成21年11月24日から次週にかけての合計4日間、東洋大学（東京・文京区）にてワークショップを開催いたしました。箏の歴史や楽器の構造についての説明、5音音階や基本的調弦については実技を交えて行いました。

また、箏のさまざまな手法を検証するグループディスカッションを行い、『六段』を鑑賞後にそれぞれに発表していただきました。六段の実演では、皆さんのあまりにも真剣な眼差しに、通常の舞台での演奏とはまた違った、緊張感と楽しさを味わうことができました。

講習実技【さくらさくら】【夕やけ小やけ】は、弾いている仲間をまるで懸命に励ますかのように、『七、七、八……』とあちこちから歌う声が沸きあがり、ときおり『お箏っておもしろいなあ！』という熱心な男子生徒さんの声も聞こえるなど、たいへん盛り上がり、不思議な一体感に包まれながら講習を無事修了いたしました。

明るくとても爽やかな学生さん達に、未来への希望を感じるとともに、勇気を与えていただいたように思います。今後も微力ではございますが、精励努力いたしてまいりたいと存じます。

また今回の開催にあたっては、田村拓男先生のお力添えにより、財団法人伝統文化振興財団（代表　藤本　草様）のご協力を得て、無料で楽器をお借りすることが出来たことで、東洋大学から大変喜ばれました。仙川支部の望月亜紗子さんをはじめ、ご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

賛助会員のご紹介（NPOへのご支援誠にありがとうございます!）

山形県	彩音会 代表　菅原綾子 東田川郡	埼玉県	日本文化体験の会 代表　戸塚順子 さいたま市	東京都	箏曲多摩の音会 代表　渡辺　実 狛江市	愛知県	彩楓會 代表　佐藤友相 名古屋市
	スミ井邦楽器店 代表　墨井富士男 鶴岡市		(学)小牧幼稚園 園長　小林牧江 越谷市		箏曲正音会 代表　渡辺正子 狛江市		箏曲明由の会 代表　山本明由子 名古屋市
新潟県	理音会 代表　高橋理香 加茂市		(株)サトウ楽器 代表　佐藤松夫 春日部市		夢の会 代表　田代せつ子 調布市		鳳友会 代表　片岡英子 名古屋市
	箏曲翔の会 代表　坂田翔祐 新発田市	神奈川都	箏美音会 代表　大江美恵 横浜市		平成尺八塾 代表　門傳良男 調布市	大阪府	箏糸会 代表　今村慶子 和泉市
	中嶋和楽器店 代表　中嶋由直 上越市		糸紋の会 代表　田口典子 相模原市		箏曲あさの会 代表　望月亜紗子 調布市	兵庫県	箏曲棚の会 代表　鈴木晴棚 加古川市
福島県	桐音会 代表　後藤札子 須賀川市		さがみ尺八の会 代表　高松義貞 相模原市		桑都の会 代表　小林千恵子 八王子市		アコヤ楽器 代表　安藤克彦 加古川市
山梨県	むらさきの会 代表　松場幸子 甲府市		宮城野楽器店 代表　白澤　功 川崎市		箏曲恭音会 代表　坂本恭子 品川区	広島県	いちえの会 代表　沖田寛江 神石郡
	山形屋琴三絃店 代表　日原　仁 甲府市	静岡県	箏曲妙の会 代表　佐野妙子 富士宮市		桐の会 仲林光子 中央区		玄恵会 代表　西本恵子 広島市
	花手まりの会 代表　小山令子 北杜市	東京都	明鏡和楽器 代表　渡辺　譲 墨田区		夏音会 代表　小笠原夏美 町田市	山口県	箏友会 代表　松崎妙子 下関市

福岡県	知啓会 代表　東島啓子 北九州市	沖縄県	峰の会 代表　下地華峰 浦添市
	箏曲かなの会 代表　緒方加奈 北九州市		咲峰の会 代表　伊良波咲峰 那覇市
	(有)福岡あこや 代表　橋本潤三 福岡市		
熊本県	熊本お琴教室 代表　古川郁代 熊本市		
	アンサンブル渡里夢 代表　渡　雪美 菊池市		
	阿蘇支部 代表　遠山豊子		
	(個人)西紀美子 熊本市		

NPOへのご支援誠にありがとうございます！　お問い合わせ　TEL & FAX 03−5771−8128　NPO事務局